



お茶の水聖書学院
NEWS



〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台 2-1
OCC ビル 2F
TEL 03-3296-1005
FAX 03-3296-4641
Email: office@obi-net.com
Web: /www.obi-net.com
お茶の水聖書学院
お茶の水聖書学院後援会・同窓会

『OBIのモットーと理念に立つて』



学院長
藤原導夫

「それは、聖徒たちを整えて奉仕の働きをさせ、キリストのからだを建て上げるためであり、ついに、私たちがみな、信仰の一致と

神の御子に関する知識の一致に達し、完全におとなになって、キリストの満ち満ちた身だけにまで達するためです。」(エペソ人への手紙 4・12・13)

主にあって新年のご挨拶を申し上げます。おかげさまでOBIも1991年の創立以来25年目を迎えることができました。これまで篤いお祈りやご支援をもつてお支えいただきましたことを心より感

謝申し上げます。

年頭にあたりましてOBIのモットーと理念を覚えさせられております。モットーは「主と教会に仕える」であり、私たちの仕える対象は、主なる神とキリスト教会であるということを改めて心に刻みたく思います。

そして冒頭に掲げました御言葉は、OBIの理念の源泉となっておりますが、それによってOBIの理念は次のように謳(うた)われています「お茶の水聖書学院は聖書に基づき、知的、霊的、実践的に整えられた主の働き人を育成することをもつて教会に仕えることを目指します」。

具体的にはOBIの受講生が聖書、神学、教会音楽などを学び、「知的、霊的、実践的」にもバランスをもつて整えられ、それぞれの教会でより良き奉仕に携わることができるようにと育成されていくということがOBIの存在理由であり、目的とするところです。

おかげさまで、これまで約200名の方々が卒業され、それぞれの教会で「主と教会に仕え」

ておられますことを心から嬉しく思っております。

2014年にOBIはOCC(お茶の水クリスチャンセンター)と統合いたしました。OCCのこれまでの使命である「宣教」とOBIがこれまでとり組んでまいりました「教育」の働きが車の両輪のように一つとなつて共に働くものとなるならば、主と教会に仕えることにおいて一層お役に立てるのではないかと期待し、祈っております。

2015年には、従来の後援会と同窓会が「OBI後援会・同窓会」という一つの組織に統合されました。OBI卒業生のみならず、さらに多くの方々がこの新組織に加わってくださり、OBIの働きが進められていくためにご支援いただけますならば感謝に耐えません。

何とぞ本年も皆さまのお祈りと共に、ご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

西郷隆盛は聖書の真理を思想の柱に置き、神の愛に則った決断を下したのだとも示唆されました。勝海舟は晩年信仰告白をし、西郷隆盛も信仰告白に至った事実を守部先生ご自身が鹿児島南洲顕彰館を訪れ、確認なさったということでした。

幕末から明治維新にかけ、日本の近代化の大きな流れの中でいかに聖書が読まれ用いられ、それを通して一介のサムライ達が時代を切り拓いていったかを知ることができました。

教会音楽デー



教会音楽科
第20回卒業生
加藤かおり

10月3日(土)の教会音楽デーに参加させて頂きました。OBI教会音楽科教師の内藤真奈先生による講義と演奏指導がありました。学院生以外の参加者が多くプログラムへの関心の高さを感じました。この講習

で私自身が特に示された事は、「奏楽

者が目立つ演奏や演奏曲が目目されるなら、その奉仕は失敗である」という事です。神様にこそ栄光を帰す奉仕を捧げるために、これまで音楽の学びを続けてきた事に改めて気づかされました。またそれは、100%神様の招きであるということです。OBI教会音楽科ではテクニクの上達のみならず、霊的成長も与えられております。音楽を通して信仰の歩みを示して下さる先生方、祈り合い励まし合える学友が与えられていますことに感謝します。「キリストのことばを、あなたがたのうちに豊かに住まわせ、…感謝にあふれて心から神に向かつて歌いなさい。」(コロサイ3:16)

秋のコンサート



教会音楽科
総合コース
川端聡子

11月7日(土)に教会音楽科の先生方による秋のコンサートが開催されました。プログラムが足りなくなるほど多くの方が来場されました。

1曲目「われは満ちたれり」は、老シメオンが幼子イエスを抱き「平和の救い」を喜び、安心して去らせてくださいと天を仰ぎみる姿を近藤先生の歌と福庭さんのクラリネットを聞きつつ思い浮かべました。

2曲目は内藤先生のオルガンによる「前奏曲とフーガ 変ホ長調」は荘厳で華やかな演奏で、ステップを踏まれているかのようなペダルさばきに見入ってしまいました。

植木先生による「人々聞け」心より求めなばは全身全霊で賛美され、「心より求めなば ねぎことは聞かれん 必ず、必ず主は聞きたまわん」のみことばが心にしみりました。

斉藤先生が演奏された「泣き、嘆き、悲しみ、おののき」は長い

悲しみの先にあるキリストの救いが見事に表現され、希望にみちた迫力のある演奏でした。

最後は遠藤先生が「聖書の歌」他を賛美されました。斉藤先生がよくかおる先生の声量は10人分と仰いますが、まさにみことばが会場中に響き渡りました。終了時には、神様と先生方に割れんばかりの拍手が届けられました。



右上：教会音楽科教師
左から 近藤はるみ先生、遠藤かおる先生、
植木朋子先生、斉藤とし子先生、内藤真奈先生、
福庭幸子さん(賛助出演)
左上下：コンサート風景



学窓トピックス

●OBI特別公開講座

9月12日(土) 午後1～4時、OCC5F508号室にて、守部喜雅氏による特別講演会を開催しました。参加者80名。「聖書を読んだサムライたち」その愛と真実の生涯に学ぶ」と題して、歴史的な人物を追いながら、宣教の熱意を燃やされる講演をしてくださいました。

●教会音楽デー

10月3日(土) 午後1～3時半、お茶の水聖書学院207号室にて、当学院内藤真奈師による第16回教会音楽デー『ゆたかな礼拝奏楽とは? もっと知ろう! オルガンのことを』を開催いたしました。参加者19名。専門的に学ぶ時となりました。

●秋のコンサート

11月7日(土) 午後2時より、お茶の水聖書学院教会音楽科教師による秋のコンサートが開催されました。参加者170名。讃美を聞きながら神を崇める素晴らしい時が持たれました。

●聖地を巡る海外研修旅行―目で見て歩いて感じる体験学習―イスラエル編 2016年2月23日～3月2日(9日間)。引率教師、飯島勅師、福井誠師。

●学院生会主催クリスマス会

12月8日(火) 学院生会主催クリスマス会が開かれました。参加者30名、主のご降誕を祝うひとときとなりました。

●第23回OBI卒業式

第23回OBI卒業式は3月5日午後2時から執り行います。今年は、聖書科、駒井卓氏(保守バプテスト同盟宇都宮バプテスト教会)、教会音楽科、島田伸世氏(日本福音キリスト教会連合夙川聖書教会)の2名が卒業に向けて、卒業研究に取り組んでいます。覚えてお祈りください。

●柏木道子先生 特別公開講座

2016年6月14日(火) OCC8Fチャペルにて、柏木道子先生をお迎えし、「主にあつては人生の秋にも春が来る」「苦難の中の希望のありか」と題して特別公開講座を開催します。

ご献金者名 (五十音順)

(2015年8月1日)

2015年11月27日

皆様の貴いご献金を心より感謝申し上げます。

阿部幸平 会田征子 安藤谷子
阿久津千枝子 安佛理恵 安藤良一
有田美榮子 伊藤洋子 池上喜久子
猪狩多佳子 岩淵勲 石井江理子
飯島多稼夫 猪狩友行 石塚幸子
石井由紀 上野優佳子 植木朋子
梅澤近子 檜鳩彰 小野沢恵子
奥村輝夫 岡田秀樹 大沼恵美子
奥津晃 柏俣朝子 加茂康一
金本悟 北城恪太郎 木下順子
倉内一壽 窪井節子 駒井卓
小林喜久男 佐藤敬 坂野慧吉
榊原寛 坂本二郎 嶋崎岳史
庄司満喜子 島田伸世 島田裕子
杉山礼子 須子都 鈴木芳宣
関守栄子 世良田湧侍 高橋和子
田村雅志 田畑勝敏 田中勇二
田中恵子 戸川偕生 戸川正子
中平悦子 中島總一郎 浪井弘子
中村良子 永澤良子 西谷英子

萩原滋 芳賀功 日名富士 脇坂勇
藤村陽子 船山勝彦 福井ちよ
藤原導夫・智子 福井誠 真鍋雅美
松崎ひかり 松本由美子 丸山幹夫
牧野三恵 平松庸一 松本逸子
三浦喜代子 三友庸子 森井あずさ
森本馥 山田由美子 山口松子
吉村瑠美子 吉野俊子 林芳
市川北バプテスト教会
中山キリスト教会
百合ヶ丘バプテスト教会
古淵キリスト教会
《クリスマス献金》(11月1日～27日)
安佛理恵 安藤良一 有田貞一
阿久津千枝子 安藤谷子 岩淵勲
飯島多稼夫 伊藤洋子 石塚幸子
内田光子 加茂康一 柏俣朝子
北城恪太郎 鬼京由紀子 倉沢薫代
坂野慧吉 榊原寛 庄司満喜子
杉山礼子 須子都 田畑勝敏
田村雅志 戸川正子 中島總一郎
中平悦子 永澤良子 芳賀功
藤原導夫・智子 藤村陽子
船山勝彦 牧野三恵 丸山幹夫
町田恵子 山口松子 吉野俊子
中山キリスト教会